

図書館だより No.2

2020年7月17日発行◆日和田中学校図書委員会◆担当3の2

【本のリクエストについて】

先月おこなった本のリクエストのご協力ありがとうございました。集まったリクエストを参考に、図書室に何冊か入る予定です。また、リクエストの中には図書室にすでにある本もありました。くわしくは裏面で紹介したいと思います。ぜひご覧ください。

【夏休みの貸し出しについて】

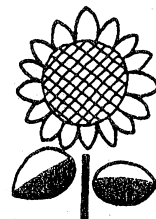
夏休みの間に読む本の貸し出しを下記の日程で行います。

◆貸出日：7月29日（水）、30日（木）、31日（金）の三日間 昼休み～

◆返却日：8月20日（木）※始業式の日

◆貸出冊数：ひとり最大3冊まで

これにともないまして、7月27日（月）・28日（火）は返却のみになります。（貸し出しはおこないません）



新着図書

「泣いたあとは、新しい靴をはこう。」（日本ペンクラブ）

「いのちを救う災害時医療」（森村尚登）

「マンガでわかる能・狂言」（小田幸子 監修）

「おれに描かれる偉人たち」（楠木誠一郎）

「十歳、ぼくは突然 敵 とよばれた」（アンドレア・ウォーレン）

「嫌いな人がいる人へ」（古山有則）

「桃太郎は盗人なのか？」（倉持よつば）

「鉋物語り」（藤浦淳）

「すごいぞ！はたらく知財」（内田朋子 他）

「卵、牛乳、白砂糖、小麦粉なし。でもちゃんとおいしいしあわせお菓子」（岡村淑子）

「令和即位の礼」（朝日新聞出版）

「カメの甲羅はあばら骨」（川崎悟司）

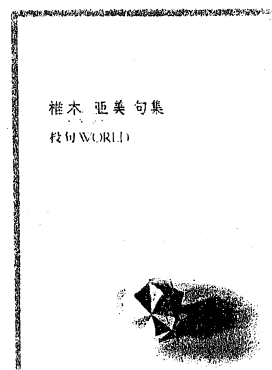
「天邪鬼な皇子と唐の黒猫」（渡辺仙州）

ほか

～寄贈のお知らせ～

本校の卒業生である 椎根朝子さん から本の寄贈を頂きましたので、お知らせします。

ご自身の俳句集が完成し、出版されたとのことで頂きました。図書室で自由に閲覧できます。



「椎木 亜美 句集 投句 WORLD」
（椎木亜美は椎根さんの俳号です）

「先生方のおすすめ本」 今月は A 先生に 紹介いただきます。

「遺伝子は人生を決めるプログラム」

このフレーズが私の記憶にずっと残っている。

東野圭吾さんの「プラチナデータ」は、2013年に某巻き起こせ系アイドルグループのN宮さんが主演だったことをきっかけに(唯一)何度も読んだ。

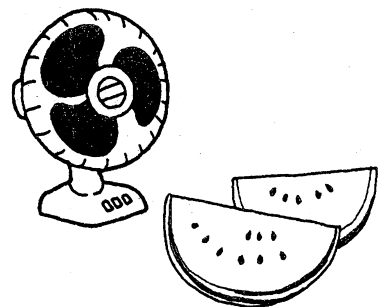
国民の行動、遺伝子情報までもが管理される社会で、DNAこそがすべてだと考えている主人公が現場に残された遺伝子情報から犯人を特定する捜査システムによって殺人の容疑者とされてしまう。真実を追い求める中で様々な人と出逢い、己と向き合うこととなる。そしてタイトルの「プラチナデータ」とは何物なのか。

出生から死ぬまでどんな人生を送るのか予め決められている(=プログラムされている)という状況とは...と考えを巡らせると恐ろしいがいろんな想像ができとても面白い作品。

(すこし難しい内容なので、映画版(2時間半)を見れば読むよりもわかりやすい...)

リクエストに書いてあったもので、図書室にすでにある本

「君は月夜に光り輝く」 佐野徹夜 ※文庫
「小説 天気の子」 新海誠 ※文庫
「西の魔女が死んだ」 梨木香歩 ※ハードカバー、文庫 どちらも有
「閃光スクランブル」 加藤シゲアキ
「龍のすむ家」 クリス・ダレーシー
「神様のカルテ シリーズ」 夏川草介
「宝島」 スティーヴンスン ※文庫
「怪人二十面相」 江戸川乱歩
「フルタの方程式」 古田敦也
「NHK オトナヘノベル シリーズ」
「ディズニーおもてなしの神様が教えてくれたこと」
「真夏の方程式」 東野圭吾
「ダヤン わちふいーと シリーズ」 池田あきこ※文庫、第三弾まで有
「佐賀のがばいばあちゃん」 島田洋七 ※文庫

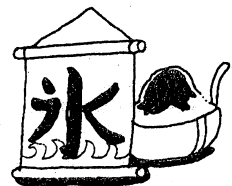


◆本の場所がわからない時は 図書室の先生に聞いてください

リクエストを元に、今後図書室にはいる予定の本

「ライオンのおやつ」 小川糸
「くちぶえ番長」 重松清
「悩み部の復活と、その証明」 麻希一樹
「青天の霹靂」 劇団ひとり
「ピラミッドの建て方」 柏木裕之
「妖精配給会社」 星新一
「三国志 シリーズ」 渡辺仙州
「地球のふしぎ なぜ? どうして?」 さいとうやすじ
「線は、僕を描く」 砥上裕将
「トラペジウム」 高山一実
「死者ノ棘」 日野草

「闘え! 日本くん 上下」
「トランクの中の日本」 ジョー・オダネル
「絵と新聞でわかる平成時代」



◆品切れや絶版の場合は、はいらない時もあります

